

民医連鋼領より

私たち民医連は、
無差別・平等の医療と、
福祉の実現をめざす
組織です。

高原新聞

高原デイサービスセンター
京都市左京区田中高原町 26
075-706-6507
Fax 075-706-6715

高原新聞発行所：高原デイサービスセンター
発行人：藤井翔伍 発行日：2021年4月5日(月)

節分の素晴らしい作品ができました



それっ！

いつも車にのっているのは、なにじんでしょう？

上から読むと、あまいもの。下から読むと、動物。これなーんだ？



鬼退治ボウリング

豆知識



高原デイサービスセンター理念

- 1 何でも話し合えるアットホームな環境作りに努めます。
- 2 地域社会において自立した生活が行えるよう利用者一人ひとりのその人らしさ（個性）を尊重し、利用者様に寄り添った介護を実践します。
- 3 安全で安心な質の高いサービスを提供できるよう常に学習意欲を持ち、スキルアップを図ります。
- 4 地域とのつながりを持つことで、信頼のあるデイサービスを目指します。

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日です。高原デイサービスセンターでは、2月2日の節分の日、「鬼は外、福はうち」と言いながら鬼退治ボウリング(レクリエーション)をして、遊びました。ちなみに、鬼って聞いたら、どんな姿を思い浮かべますか？ツノの生えた、赤色や青色のこわ〜い姿を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか？実は、もともとは鬼の姿は決まっていなかったのだそうです。見えない悪いものを鬼と呼んでいて、いろんなお話を通じて、だんだんと今の姿になっていったそうです。悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために、豆まきをします。鬼に炒った豆をぶつけて、悪いものを追い出すというイメージです。ずーっと昔に、鬼を豆で退治したところから由来しているそうです。

1、2、3月のお誕生日の方々です。 おめでとうございます！



川柳やってみました

藤井の私事です。ある日、我が息子（次男）の担任の先生から電話がありました。その内容は、社会科学見学で琵琶湖疎水に行き、そこで学んだことを川柳というかたちで子どもたちに書いてもらったそうです。そして、次男の書いた川柳が、琵琶湖疎水新聞コンテストの努力賞に選ばれました。その川柳とは！「トンネルを ダイナマイトで ばくはつた」です…。ならばと、2月9日（火）、ご利用者さまと職員で、川柳をやってみました。この時のお題は、「ひなまつり」でした。川柳は俳句と違って、季語を入れなければならないという制約はありません。また、句を切るための「や」「かな」「けり」という「切れ字」も必要としません。川柳を考える上で必要なのは、「口語」が一般的であり、人間の所作などを表現します。左に載せている川柳は、ご利用者さまや職員の作品となります。一つ一つの作品が、とても素晴らしい作品となっています。次回も、お題を変えて、やってみたいですね。

きさらぎの
えりもとさむし
タくりや

ひなまつり
あかりをつけて
はじまるよ

いまはとき
祖母をおもう
ひなまつり

ひなまつり
ひしもちたべた
おもいでよ



ひなまつり
むかしをおもう
ひまごみて

春のおどず
れにいだいてる
こどものころ

はるのよい
あまぎけのんで
あかいほは

ひなあられ
まいとしたべる
ファンです

藤井

我が家の癒し

我が家には、猫が3匹います。その中でも、みーちゃん（オス）が今年の7月に20歳を迎えます。20年前の7月、川土手の熱いアスファルトの上を、何やら動く物を発見しました。最初、「モグラかな？」と思ったら、「猫の赤ちゃんだー！！」まだ、へその緒が付いている。周りを見渡しても、親猫がどこにも見当たりませんでした。「このままだと、トンビやカラスのご飯になってしまうかもしれない。」と思うと、居ても立っても居られなくなり、一先ず、赤ちゃん猫を家に連れて帰りました。猫のことに詳しい友達だったので、電話をして相談しました。「とにかく水をあげて」とアドバイスをもらい、ストローをスポイト代わりに水をあげました。次に排泄です。本当は母猫が舐めるらしいですが、その代わりとしてティッシュをお湯で湿らせ、コチョコチョコ。夏でも夜は寒いのでペットボトルにお湯を入れて湯たんぽ代わりに横に置いていました。牛乳は飲ませないようにとのことでしたので、翌日猫用のミルクを買いに行きました。その日から約3時間おきの授乳が始まりました。

あの日から早20年が経ち、病気もせず今でも元気な、みーちゃん。人間でいうと、96歳だそうです。まだまだ元気で、長生きして欲しいです。

渡邊 和美（事務）



パタパタでバタバタゲーム

高原デイサービスセンターでは、プログラムの中にレクリエーション活動があります。内容は、日常生活の中でよく使うもの（ペットボトルの蓋の閉め、洗濯ばさみなど）を使った遊びから、風船や輪投げといったシンプルで楽しいゲームを職員一同工夫しながら取り組んでいます。

今回、ご紹介する“パタパタでバタバタ”ゲームですが、内容はとてもシンプルで大盛り上がり間違いなし！といった遊びです。ルールは至って簡単。厚紙を用意し、三角に折り、テープで止めるだけです。同じものを2つ用意できたら、テーブルの上に置いて、ロックオン！

あとは、ご利用者お二人に団扇を持って、ゴールに向かって死に物狂いで扇いでもらうだけです。こんなシンプルな遊びですが、ご利用者・職員一同を大いに盛り上げてくれること間違いありません。

ある日の“パタパタでバタバタゲーム”トーナメント戦で見事勝ち抜かれた方々です！おめでとうございます！

田邊です♡
看護師です♡

國西ですー。
漫画大好きですー。

西澤じゃねえよ！大澤だよ！

表彰状

令和3年度、レクリエーション活動「パタパタでバタバタゲーム」において、大変活躍な成績をおさめられましたので、これを賞します。

高原デイサービスセンター
管理者 中野 督
職員一同

あくなき戦い

私の家には、2匹の猫がいます。おっとりおとなしい性格のさび猫の「はなちゃん」。それから、元気いっぱい暴れん坊なシヤムミックスの「ふくちゃん」です。

2匹とも保護猫で同じ施設からお迎えしました。性格が正反対の2匹ですが、初対面から今まで仲良く家猫生活を送ってきました。しかし、半年前、ある事がきっかけで、2匹の家猫生活が大きく変わりました。それは、玄関のドアの立てつけが悪かったため、修理をしたところ、猫の力でも玄関が開いてしまうようになりました。いつも外へ出たがる猫と、何としても外へ出たくなかった私のできる限り、その日から始まりました。ドアのカギをかけ忘れたら最後だよ！との如く、いつもチャンスを待っている猫たち。最近では、ドアに限らず窓や勝手口、いたる所から脱出を試みるようになっています…。

窓には補助鍵や猫ストッパーなど、ありとあらゆる対策をして戦っています。今のところ、確率は五分五分…まだまだ、2匹の猫たちと私のあくなき戦いは、続きそうです。

國西 由香子（介護職員）



灯りをつけましょ雪洞に

三月三日のお雛祭り前のことです。無事に今年もお雛様（左写真）を飾ることができました。今では、こんなに立派なお雛様を飾るご家庭も少ないように思います。私が生まれたときに、大好きだった祖母が買ってくれました。我が家にとっての家宝であり、大事に扱っています。まるで私が幼かった頃から、親王・官女・五人囃子・隨身・仕丁たちが見守ってくれているように思います。今はもう祖母には会えないですが、お雛様を飾るといつも、昔みんなでお雛様のケーキを食べた事、チラシ寿司を食べた事、その時の祖母の笑顔思い出します。

六歳になる娘がいます。「お手伝い」という名の邪魔をされながら、ケシカしながら、お雛様を出しました。(笑) 今度は娘にも、祖母の温かい思いをしっかりと伝えていきたいと思っています。

大澤 加奈子（介護職員）



楽しいひととき

去年の10月、広沢の池に行った時のこと。池を眺めながらぶらぶらと歩いていると、弁財天の祠のある、お賽銭入れに何かがあるのが目に入ってきました。

ハッと近づいてみると、鉄筒の口からぴょこんと顔を覗かせている、小さな小さなあまがえるが！しっかりと外の様子をうかがうように顔を出している、その姿のなんと可愛らしいこと。こんな光景に遭遇できるなんて、とワクワクしながらしばらく観察し、シャッターを押したところ、すぐに引っ込んだので残念がっていると、じきにまたそろりと顔を出しました。「お賽銭持って、好きなもん買いに行ったりしてるのかな、好きなもんって何やろうね、キャラメルとか買いに行ったりして」なんて話しているうち、賽銭箱から這い出て、池の草に飛び移っていきました。きっと、キャラメルではなく生きたコオロギなんかを捕食するんだ。

つかの間の出来事でしたが、アーノルドローベルの「ふたりはともだち」というお話に出てくる、かえるくんとがまくんの世界に触れたような、そんな楽しいひとときでした

愛川 咲子 (介護職員)



あらすじ
がまくんは、玄関の前に座っています。
そこへ、かえるくんがやってきます。
かえるくんは、がまくんが、どうして悲しそうなのか聞くと……。
かえるくんとがまくんの、心温まるお話です。

オリジナル装具を発明

ご高齢になると、“脚が悪くてスムーズに靴下を着用することが出来ない”と悩んでおられる方が少なからずおられます。特に足先に手が届かない方に、何か良い装具が無いか調べ、また理学療法士にもアドバイスをもらいました。

試行錯誤しながら作った装具を、一度ご利用者様に試していただきました。その装具を試したご利用者様より、「足先が締め付けられて、痛みも感じる。」というご意見をいただきました。そこで、さらに改善する必要があったため、痛みを感じない良いものが無いか百円ショップに行きました。そうして、装具1作目、2作目と試行錯誤を重ね改善していく中で、何とかこれならとようやく型ができあがりました。一方、装具を試していただいたご利用者も、もう少し使い易いようにとご自宅で改善してきて下さりました。そのことを聞いて、私もとても嬉しくなりました。これからご利用者様の意見を参考にワンランクアップした装具を作り、同じような悩みを抱えておられる多くのご利用者様に活用していただければと思っています。

山口 かほる (看護師)



大作「嵐山の桜」



高原デイサービスセンターのフロアに見事な桜が咲きました！
素晴らしい作品を見ながら、おいしいお食事♡毎日がお花見です